



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年1月31日

上場会社名 株式会社 中広

上場取引所 東名

コード番号 2139 URL <https://www.chuco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大島 斉

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 倉橋 誠一郎

TEL 058-247-2511

四半期報告書提出予定日 2023年2月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	6,074	16.5	51		43		0	
2022年3月期第3四半期	5,215	9.4	22		2		11	

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 6百万円 (%) 2022年3月期第3四半期 53百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	0.13	
2022年3月期第3四半期	1.67	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	4,725	1,790	36.8
2022年3月期	3,979	1,772	44.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 1,737百万円 2022年3月期 1,772百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2022年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		5.00	5.00
2023年3月期(予想)		0.00		10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,700	23.2	180	119.6	150	24.3	70	30.9	10.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	7,044,000 株	2022年3月期	7,044,000 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	243,975 株	2022年3月期	243,975 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	6,800,025 株	2022年3月期3Q	6,800,025 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年12月31日)は、3年に及ぶコロナ禍緊急対応から経済正常化に向けた政策転換がすすむ一方、米中対立とロシアのウクライナ侵略などにより世界情勢は混迷を深め、国内においても食料・原材料・エネルギー価格、人件費や流通コストなどが上昇することによるコストプッシュ型インフレが進行するなど、国内経済環境は依然として不透明な状況が続いております。このような状況下、国内広告事業においては、国内経済の正常化やインバウンド需要の回復期待などにより事業環境が改善したものの、その回復基調は緩やかなものとなっております。

コロナ禍によりネット社会への移行が加速しバーチャル領域が拡大すると同時に、紙媒体やポスティングなどリアルなコミュニケーションの重要性・安全性も再認識されています。当社グループは、今期(第45期)経営テーマ「DX化時代を駆け抜ける!」のもと、『紙媒体とWebの共創』として以下のような施策に取り組んでおります。

- ・ハッピーメディア®「地域みっちゃく生活情報誌®」(以下、地域フリーマガジン)等において、二次元コードの活用による紙媒体からWebへの誘導(誌面とネットのハイブリッド広告)による広告効果・広告価値の向上
- ・全都道府県のポスティング型フリーメディアを容易に検索し活用・見積りができる「日本地域メディアネットワーク/JLMN」(<https://adnavi.info>)、自社サイト「まちJOB」及び「フリモール」、お得で便利なクーポンアプリ「フリモ」など、ウェブサイトやアプリの運営及びハッピーメディア®との連携強化
- ・クラウドファンディングによる地域商店街応援施策など、IT・ウェブ活用による地域経済活性化広告提案
- ・株式会社ビジョンとの業務提携による、地域広告主への経営効率化のためのDX商材提案
- ・読者からの投稿やアンケート返答、プレゼント応募、ウェブやアプリへのリンク活用やクーポン利用など、読者・ユーザーの主体的なレスポンスや行動による広告効果の測定や広告主へのフィードバックの強化(日本最大級の読者レスポンスデータの分析による効果的な広告提案営業)

当社はVC加盟社※とともに、「全国5,000万世帯に、地域フリーマガジンを直接お届け(ポスティング)すること」を中長期の経営目標としております。当社グループの強化・一体化を企図し、2022年6月30日に株式会社Success Holders(旧株式会社ばど)のメディア事業承継子会社(現株式会社中広メディアソリューションズ。以下、CMS)を完全子会社としました。さらに2022年7月1日には株式会社ケイ・クリエイトと、同社の子会社である株式会社ケイピーエスを連結子会社としております。当期末における地域フリーマガジンの発行状況(VCを含む)は31都道府県142誌(前年同期は29道府県135誌)、月間発行部数1,150万部(同1,015万部)となっております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上は6,074,205千円(前年同期比16.5%の増加)となりました。売上総利益は原価率の低減により2,739,212千円(前年同期比22.5%の増加)となり、販売費及び一般管理費の増加率を上回った結果、営業利益は51,370千円(前年同期は△22,209千円)、経常利益は43,691千円(前年同期は2,999千円)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は882千円(前年同期は△11,337千円)となりました。

※ VC契約とは

Voluntary Chain(ボランティア・チェーン)契約。お互いの経営を尊重し発行元責任を持ちつつ、全世代の読者に安心・安全な各戸配布型の無料情報誌を、ハッピーメディア®「地域みっちゃく生活情報誌®」ブランドで発行します。この契約により、当社はVC加盟契約先企業より、商標使用料及びシステム使用料を得ております。VC契約を推進する目的は、当社のフリーマガジンの考え方(地域密着・厳格な掲載基準・正確な配布部数・レスポンス重視)に賛同する企業と共同してフリーマガジン事業を全国展開することで、広告事業を通じて地域経済の活性化に貢献するとともに、全国規模の良質なフリーメディア広告インフラを迅速に整備することです。

メディア広告事業及びその他(EC事業)の経営成績は次のとおりであります。

① メディア広告事業

当社グループは、主として自社媒体「ハッピーメディア®」の企画・営業・編集・発行等を担当する部署と、自社媒体の広域営業や自社以外のメディア・印刷物等を用いた販売促進等を行うセールスプロモーション部署とが一体となって、地域経済の活性化や地域課題の解決に資するメディア広告事業を行っており、単一の報告セグメントとしております。

自社メディアの主力商品である地域フリーマガジンの発行エリア、月間発行部数などについては、当社グループ

理念や各種取組み、広告主・読者レスポンス等と共に、「中広報」（毎月末発行）にて社内外関係者へ発送すると同時に、当社HPに掲載しております。なお、第2四半期から連結対象となったCMSによる地域フリーマガジン「ARIFT®」の月間発行部数は、宮城県（8エリア）336,540部、埼玉県（13エリア）566,080部、東京都（2エリア）103,030部、神奈川県（7エリア）347,195部の計1,352,845部であり、ケイ・クリエイトによる同「くれよん®」は、愛知県（6版）計488,350部、となっております。（発行エリア、部数等は当期末時点）

メディア広告事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は総じて増加し、自社メディア広告売上3,771,159千円（前年同期比18.1%増）、セールスプロモーション等売上2,018,677千円（同21.7%増）、計5,789,837千円（同19.3%増）となり、同期間におけるセグメント利益は334,998千円（同35.7%増）となりました。

② その他（EC事業）

その他に含まれる通信販売事業（EC事業）では、光熱費等の高騰や円安進行による物価高など消費マインドの悪化要因の影響を受け、主に大型家具などの値上げ額が大きい商品を中心に売上が低調に推移しました。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間のその他売上高は284,368千円（前年同期比21.8%減）となり、セグメント損失は3,405千円（前年同期は563千円のセグメント利益）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当社グループの当第3四半期連結会計期間末における総資産は、連結子会社が前連結会計年度末の1社から4社に増加したこと等により、4,725,384千円（前連結会計年度末から745,935千円の増加）となりました。これは主に関係会社株式が45,250千円減少したものの、現金及び預金が338,905千円、受取手形及び売掛金が164,208千円、のれんが82,716千円、建物及び構築物が64,722千円、流動資産のその他が64,136千円及び土地が29,194千円増加したこと等によるものです。

負債は、2,935,011千円（前連結会計年度末から728,433千円の増加）となりました。これは主に賞与引当金が46,680千円減少したものの、支払手形及び買掛金が323,253千円、流動負債のその他が211,059千円、短期借入金が100,000千円、長期借入金が68,362千円及び1年内返済予定の長期借入金が37,789千円増加したこと等によるものです。

純資産は、1,790,372千円（前連結会計年度末から17,501千円の増加）となりました。これは利益剰余金が33,894千円及びその他有価証券評価差額金が1,070千円減少したものの、非支配株主持分が52,466千円増加したことによるものです。

なお、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は36.8%です。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期業績予想につきましては、2022年10月31日付「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,722,655	2,061,561
受取手形及び売掛金	842,014	1,006,223
棚卸資産	15,391	19,471
その他	125,622	189,759
貸倒引当金	△3,250	△5,176
流動資産合計	2,702,435	3,271,838
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	213,118	277,841
土地	398,950	428,145
その他(純額)	11,034	28,210
有形固定資産合計	623,103	734,197
無形固定資産		
のれん	33,487	116,203
その他	64,763	69,309
無形固定資産合計	98,250	185,513
投資その他の資産		
投資有価証券	103,926	102,290
関係会社株式	121,078	75,827
差入保証金	202,773	213,167
繰延税金資産	89,939	78,575
その他	74,518	126,587
貸倒引当金	△36,575	△62,614
投資その他の資産合計	555,660	533,834
固定資産合計	1,277,013	1,453,545
資産合計	3,979,448	4,725,384

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	657,997	981,250
短期借入金	560,000	660,000
1年内返済予定の長期借入金	118,805	156,594
未払法人税等	38,437	11,809
賞与引当金	78,269	31,588
その他	270,843	481,903
流動負債合計	1,724,352	2,323,145
固定負債		
長期借入金	458,669	527,032
退職給付に係る負債	10,962	22,304
資産除去債務	-	15,882
役員退職慰労引当金	-	20,030
その他	12,594	26,616
固定負債合計	482,226	611,866
負債合計	2,206,578	2,935,011
純資産の部		
株主資本		
資本金	404,300	404,300
資本剰余金	94,800	94,800
利益剰余金	1,295,290	1,261,395
自己株式	△15,824	△15,824
株主資本合計	1,778,565	1,744,671
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5,695	△6,765
その他の包括利益累計額合計	△5,695	△6,765
非支配株主持分	-	52,466
純資産合計	1,772,870	1,790,372
負債純資産合計	3,979,448	4,725,384

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	5,215,316	6,074,205
売上原価	2,979,210	3,334,993
売上総利益	2,236,105	2,739,212
販売費及び一般管理費	2,258,315	2,687,841
営業利益又は営業損失(△)	△22,209	51,370
営業外収益		
受取利息	141	136
受取配当金	1,058	1,181
受取賃貸料	10,454	11,133
持分法による投資利益	14,977	-
その他	6,070	8,681
営業外収益合計	32,701	21,132
営業外費用		
支払利息	2,684	4,003
持分法による投資損失	-	16,153
支払手数料	2,432	5,409
車両事故損失	1,609	2,173
その他	765	1,070
営業外費用合計	7,492	28,812
経常利益	2,999	43,691
特別利益		
固定資産売却益	-	2,917
投資有価証券売却益	3,814	-
役員退職慰労引当金戻入額	-	10,648
特別利益合計	3,814	13,565
特別損失		
固定資産除却損	192	-
投資有価証券評価損	-	1,414
段階取得に係る差損	-	5,599
特別損失合計	192	7,013
税金等調整前四半期純利益	6,621	50,243
法人税、住民税及び事業税	11,000	15,067
法人税等調整額	6,958	27,209
法人税等合計	17,958	42,277
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△11,337	7,966
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	7,083
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△11,337	882

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△11,337	7,966
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△42,606	△1,070
その他の包括利益合計	△42,606	△1,070
四半期包括利益	△53,943	6,896
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△53,943	△187
非支配株主に係る四半期包括利益	-	7,083

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	メディア広告事業			
売上高				
自社メディア広告	3,193,615	—	—	3,193,615
セールスプロモーション等	1,658,219	—	—	1,658,219
その他	—	363,481	—	363,481
顧客との契約から生じる収益	4,851,834	363,481	—	5,215,316
外部顧客への売上高	4,851,834	363,481	—	5,215,316
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	4,851,834	363,481	—	5,215,316
セグメント利益又は損失(△)	246,835	563	△269,608	△22,209

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「EC事業」を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、報告セグメントに帰属しない全社費用であります。全社費用は、管理部門にかかる一般管理費を含んでおります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	メディア広告事業			
売上高				
自社メディア広告	3,771,159	—	—	3,771,159
セールスプロモーション等	2,018,677	—	—	2,018,677
その他	—	284,368	—	284,368
顧客との契約から生じる収益	5,789,837	284,368	—	6,074,205
外部顧客への売上高	5,789,837	284,368	—	6,074,205
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	5,789,837	284,368	—	6,074,205
セグメント利益又は損失(△)	334,998	△3,405	△280,221	51,370

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「EC事業」を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、報告セグメントに帰属しない全社費用であります。全社費用は、管理部門にかかる一般管理費を含んでおります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当社は、2022年6月30日付で、株式会社Success Holders分割会社(株式会社中広メディアソリューションズに名称変更)が発行する全株式を取得し、同社を連結の範囲に含めたことにより、「メディア広告事業」にお

いてのれんが発生しております。当該事象による当第3四半期連結累計期間におけるのれんの増加額は、99,000千円であります。

また、当社は、2022年7月1日付で、当社の持分法適用関連会社であった株式会社ケイ・クリエイトの株式を追加取得し、同社を連結子会社化したことにより、「メディア広告事業」においてのれんが発生しております。当該事象による当第3四半期連結累計期間におけるのれんの増加額は、3,510千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。